

何
 以前
 世
 通
 重
 以
 98%以
 鼻
 ぞ
 職
 豊
 笑
 空
 良
 フエ
 toフエ
 ハト
 toハト
 内
 ほ
 げ
 企
 ひ
 花粉

菜根譚<後編>
 練習
 馬術
 雨
 体
 優
 プラ
 学ぶ・磨く・育てる 心技体
 5
 5
 良
 職
 づ
 豊
 笑
 話

馬
 笑
 笑
 誘
 通じ
 じ
 ぶ
 わ
 馬
 以
 信頼関係
 築
 切
 術
 結
 世話
 驥

社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣 良次

2014. 5
No.249

イナテック 52期スタート

5月1日よりイナテック 52期がスタートいたしました。

昨年度 51期(2013年度)は2012年度に比べ売上高は横ばいで、収入は微増でした。もちろん目標は未達でした。経営者の通信簿としてはこの結果は失格だったかもしれません。

今年度 52期は皆さんと目標の摺合せを行い、少し頑張れば達成出来るように目標を設定し、日本の経済成長より少し高い2.2%(売上高経常利益率)といたしました。

業界の中では決して高い利益率ではありませんが、52期はしっかり足元を固める事でじっくり

改善の効果が出せる企業体質にしたいと思っています。

〈競争方針〉

5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)の徹底

(物の5Sと業務の5S)

〈技術方針〉

加工点にこだわった技術の徹底追及

イナテックの使命は

「お客様に感動し、喜んでいただくこと」

イナテックが自らの使命を果たす方法は

「お客様に100%良品をお届けすること」

です。

カエルがジャンプするためにはやがみ込んで準備している時のような年度になります。

やればできると思っており、それだけの実力はついてきていると確信しております。

この一年よろしくお願い致します。

52期業務報告会から見えてきたもの

イナテックが目指すところは、

・ 勝ち残れるダントツ技術

・ キラリと光る技術

です。

そのためには、製造の困り事を解決することが大切です。

☒ ・ 刃具カケゼロ

・ 打コン不良ゼロ

・ 圧コン不良ゼロ

・ 寸法不良ゼロ 等々

この加工点を極めることが、“勝ち残れるダントツ技術”であり、“キラリと光る技術”なのです。

さあ、今から3ヶ年かけて『加工点』でイナテックは勝負を致します。

刃具を交換し、次の刃具交換点で寸法がそろ(もちろん確認のための測定は大前提)ラインです。それは製造の人たちが楽(ラク)に製品(商品)を作れるラインにすることです。

必ずイナテックのノウハウの詰まったラインが出来るはずですよ。

皆で頑張り、勝ち残り企業になろうではありませんか。

良いものを高くお買い上げいただく

“致知” 2014年5月号に村尾隆介社長（スターブランドトップコンサルタント）の記事が載っております。

テーマは『小さな会社をキラリと光る存在に変えるブランド戦略』でした。

私（稲垣良次）は、「良いものを高く売る・買っていたたく」そんな都合のいいことが、そう簡単にある訳がないと思っております。

そこには“良い製品を作り続ける”、そういう凡事徹底の精神が根底に流れ続けていなくてはなりません。

そこで先ほどの「加工点」についてです。他社ではマネの出来ない技術、それがキラリと光る技術です。それには、やはりお客様に感動して、喜んでいただくことが必要になります。これは村尾社長と同じところでした。

また我々は営業の在り方についても変えなくてはならないと思いました。「あれもできます、これもできます、何でもうちに頼んでください」と村尾社長が言うとおりに、器用にやっている会

社に限って価格競争に巻き込まれる、まさしくイナテックの営業の姿そのものでした。

これからは“加工点”にこだわり、「お客様に喜んでいただける“キラリと光る技術”をお買い上げいただけるように努力していかなければなりません。

この致知の村尾社長の記事の中で『ジャストヨット運送』の話が載っていました。その愛知県内の会社は、大手自動車会社の自動車の部品の運搬が大多数を占めていました。ところが最近、組立て方法が変わり、以前の1／10の売上になつてしまったそうです。

しかしこの会社は、ヨットの運送に特化し、ヨット運送の市場でシェア100%を取るといふ戦略を立て、仕事量を着実に増やし、他社との価格競争に陥ることなく活路を見出したのです。もちろん運送だけでは250名の会社を支えてい

くことは出来ません。本業を維持しつつ、“小さなブランド”を生み出していくことで、会社を維持していくことが出来るのです。

イナテックもこのジャストヨット運送のように、“キラリと光る技術”を、ニッチな所でシェアトップを目指せばもっと楽しい会社に生まれ変わると信じております。まずは我々の発想を変え、“加工点”にこだわり“キラリと光るイナテックの技術”を確立しようではありませんか。

実はこのジャストヨットの記事の話を私のヨット仲間話した所、最初は気が付かなかったけど、その仲間が稲垣君、そのジャストヨット運送は〇〇君の会社だよ」と…その〇〇君はヨットクラブチームの仲間でした。

すごい人が近くにいるんです。
必要・必然 会いたい人に一瞬のズレもなく会える

社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣良次

2014. 4
No.248

新入社員の皆さんへ

入社おめでとうございます。

今日は皆さんの社会人としての新たな人生のスタートです。

そこで新入社員の方々に一言アドバイスを致します。

まず、この世に楽な仕事などないということ。仕事は厳しいものだけど、決して殺されるわけではないので、腹を括ってください。

始業時間中や約束の時間ぎりぎりに来るような人間は、絶対に伸びません。

大切なことは、「向き・不向きより前向き」に与えられた目の前の仕事に真剣に取り組むことです。

いま与えられた仕事に対して一所懸命努力していくこと以外、自分の人生を善い方向へ導いていく解決策はないということです。

次に「人生で大切なのは何事にもいつも前向きに笑顔でいることです。それがひとつの社会貢献なのです。

なぜそれが社会貢献かと言うと、我々はまわりの人たちや自然の中で生かされているからです。

だとすれば仏頂面でなく、「笑顔」をふりまくことがどれだけ大切かということがお分かりいただけるかと思えます。

- ・仕事というものは厳しいもの
 - ・与えられた仕事は一所懸命やること
 - ・いつも笑顔で前向きにふるまうこと
- これが皆さんへのお祝いの言葉です。



A W蘇州様で総合優秀賞

2013年度の中国・AW蘇州仕入れ先の中で、稲垣汽车配件(平湖)有限公司(イナテック平湖)が仕入先32社中第1位の総合優秀賞をいただきました。

これもマザー工場であるイナテックの本社の皆さんの支援とイナテック平湖の中国社員の方々の努力の賜物と感謝申し上げます。

AW蘇州様の開業年度でイナテック平湖が最初に総合優秀賞をいただけただけということは、AW蘇州様の歴史に残る大変素晴らしい事と思えます。本当にありがとうございます。

そしてこの名誉にふさわしいイナテック平湖であり続けることが董事長としての私の仕事であります。問題点は見えてきました。その問題点を中国の社員の方々に始めイナテックグループの総力を上げて、名実共に最優秀会社のイナテックとして頑張り続け、イナテック平湖の社員の方々に幸せになっていただけるよう努力致しますので、よろしくお願いいたします。本当に感謝申し上げます。

まだまだ元気です

前月号に「私のリビングウイル」を書かせていただきました。皆さんから色々感想を寄せていただき、ありがとうございます。

2014年の2月22日(土)極寒の日でした。新しいヨットを蒲郡に運ぶために神戸の西宮ヨットハーバーから30時間かけて廻航セーリングを致しました。朝6時に神戸を出港し、関西空港を左手に見ながら船を進め、夕方には「日の崎」を通過し、真夜中に潮岬を通過しました。5名で交代して仮眠をとり、航海で一番重要なワッチ(監視)を手分けして行いました。正直、とても寒かったです。いくら着込んでも寒いものは寒いもの、露天で操船するわけですから当たり前です。

早朝の紀伊長島で、太陽というものからこんなに暖をいただけるものかと、お天道様に感謝しました。お陰様で正午頃には無事、蒲郡に到着することが出来ました。

今年62歳になる私も還暦からの第2の人生を楽しんでいます。この61歳のじじいに敗けないよう皆さんも頑張ってください。

私の夢に一步近づく

私は企業理念を皆さんにお話しさせていただく時に「私の夢は65歳までに太平洋をヨットで渡ることです」と10年前から皆さんの前で宣言して参りました。

ヨットを始めて35年になりますが、今回のヨット(中古船)は、ロスアンゼルス⇩ハワイレースに参加したヨットなのです。もちろん沖縄⇩東海レースにも、鳥羽パールレースにも参戦しています。国際レースに出場可能な素晴らしい船です。

残された課題は、我々の根性とセーリング技術

を磨くことです。そうして太平洋横断が実現致します。

もちろん人間づくり、品格や人間性を磨くことも大切です。自分磨きを死ぬまでやり続けますので、よろしくお願い致します。

私が元気でいることがイナテック社員の皆さんを幸せにする第一歩で、私の使命と考えております。

61歳で 毎日筋トレ

毎週トレーニング

フルマラソンへの挑戦

これらを、夢を実現するために、生涯現役で頑張ります。

社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣 良次

2014. 3
No.247

“死に際を考える”ことは

生きることを考える

私はイナテック企業理念の中で「仕事・人生の後始末をすることが大切です」と常に語らせていただいています。

私自身いつも自分の後始末について考え、興味を持っています。そんな中、慶応大学医学部の近藤誠先生の本『医者に殺されない心』の心得『より』に出会うことが出来ました。サブタイトルは『医療と薬を遠ざけて、元気に長生きする方法』です。

その本の最後に“リビングウイル”という言葉が出てきました。

それは自分の死の間際にどういう治療を受けたいかを“判断能力”のあるうちに文書にしておくことのようなのです。

日本では、リビングウイルはまだ法的な力はありませんが、書いておくことで意識を失った後も家族や医師に延命医療についての自分の意思を伝えられるということです。

私が企業理念の中で申し上げている“人生の後始末”の一つの方法ではないかと思っております。

自分で説明できなくなった時、色々な終末、「どう死にたいか」の希望は一般的に色々あります。

「鼻チューブ栄養のような強制的な栄養補給は一切不要」

「人工呼吸が一週間続いて意識が戻らなかつたら装置を外して欲しい」

「植物人間状態になっても出来るだけ生きていきたい」

「自分で食べられなくても胃瘻をしてでも生きていきたい」など

具体的に書いて身内の同意をもらい、毎年更新していくものがリビングウイルです。

そこで私（稲垣良次）も近藤先生のリビングウイルを参考にさせていただき、自分で考えたものを書いてみました。

〽稲垣良次のリビングウイル〽

一切の延命治療はしないでください。

私は会社では社員の皆さんに企業理念も我慢してよく聞いていただけだし、無理な方針にも対応して頂き、やりがいのある仕事もさせていただきました。

社員さんも50名を超し、中国平湖にも会社設立が出来、これも皆さんのお蔭です。

又、ヨットにも乗らせていただき、レクサスLFAも乗せていただき、マフソンや駅伝にも参加させていただいた家族にも大変感謝いたしております。

わがままで、好きなことばかりやってきたこと、申し訳ございません。

本当に幸せな人生です

私は皆さんのお蔭でやりがいのある人生を生きてきました。

61歳まで好きなことに打ち込めて幸せでした。

そして自分らしく人生を終えたいと思っています。

今、私は意識を失っているか、呼びかけに少し反応するだけだと思います。すでに自力では呼吸もほとんど出来ないかもしれません。

このまま命が尽きても、何も思い残すことはありません。

だから決して救急車は呼ばないでください。

すでに病院にいるなら、人工呼吸器をつけないで下さい。つけられているなら、外して下さい。自力で飲んだり食べたり出来ないなら、無理に口に入れないでください。

点滴もチューブ栄養も、昇圧薬、輸血、人工透析なども含め、延命のための治療も何もしないでください。すでに行われているなら、すべてやめて下さい。

もしも私が苦痛を感じているようなら、モルヒネなどの痛みを和らげるケアはありますが、たくお受けします。

今、私の命を延ばそうと力を尽くしてくださっている方々に、心から感謝いたします。

しかし私のこの願いを聞いてください。私は

この文章を冷静な意思のもとに書き、家族の了解を得ています。

一切の延命治療をしないで下さい。

この最期の願いをどうぞ叶えて下さい。

決して後悔しないことをここに誓います。

2014年1月17日

稲垣良次

これはイナテック企業理念で語らせていただいていることの一つの実践のかたちだと思っております。

皆さん宜しくお願い致します。

ありがとうございます。

社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣良次

2014. 2
No.246

2014 年に思うこと

私がA W様から仰せつかっている、A W協力会会長として、2014年1月8日にA W協力会新年交礼会で行った年頭のご挨拶の一部です。

『今年も午年です。馬の視野は350度あるようです。真後ろを除いて、ほぼ全てを見通すことが出来ます。我々も馬のように広い視野を持たねばなりません。』

しかし、馬のようにあらゆる方向が見えるからと言って過剰に臆病にならずに「何事もやる前から悩むのではなく、まずはやってみる」というチャレンジする気持ちが大切だと思っております。つまり

一・広い視野を持つこと

二・チャレンジすること

この2点を心掛け、そしてA W様に喜び、感謝して頂ける2014年にしたいと思います。

次に、「世の中は自分一人では何もできない。宿命的に人様の力が必要」と言うことです。

我々はA W様あつてのものであります。そして各社の社員の方々の英知を120%引き出すことが私共経営者の役割であります。

その英知を結集して、A W様の夢を共有させていただき、その実現の為に世界No.1のA/T部品を供給できるよう、A W協力会としても挑戦を続けて行く所存です。』

等々述べさせて頂きました。どうか2014年も宜しくお願い致します。

イナテック企業理念は

いづれから話しているのか

このイナテック企業理念

『確かな技術と磨かれた心で社会に貢献』は2002年の創立50周年の時に発表したものです。

そして、全社員の方々に毎回説明させていただくようになったのは翌年の2003年8月の会社説明会からようです。

また、そのきっかけは、あるイナテックの社員の方から「イナテックという会社は、決め事をしてもすぐにやめてしまう会社だ」と耳にしたことがあり、胸に手を当てると確かに身に覚えがありました。

そこで、社長自身が社員の方々の前で語り続ければ自分の「力」にもなるし、皆さんへの誓いにもなり、「すぐやめてしまう会社」を自分から絶対変えてやるぞ、と言う思いでした。

お陰様で、11年間企業理念を語り続けているし、TPMもやるぞと決めてから7ヶ年、『優秀賞』までたどり着くことが出来ました。

まさしく、「すぐやめてしまうイナテック」から「こだわり続けるイナテック」に変貌したと言つて過言ではないと考えております。

その他続けていること

1. 社員の皆様へのメッセージ

1993年9月より21年間毎月実施現在246号

2. トイレ掃除

2001年9月より毎日実施

もちろん、これからも死ぬまで語り実践し続けます。

⑩ 幸福とは楽しく生きる
与えられた喜び
皆に感謝

人は何のために生きるのか

何のために働くのか

イナテックの企業理念として『確かな技術と磨かれた心で社会に貢献』イナテックでの仕事を通して自分を成長させ、人間形成をして下さい、と述べさせていただきました。

そしてなぜ人間的成長をさせなければならぬかと言うと、『お客様に喜びと感動を与えること』が使命なんです、と説明させていただいています。

そこでもう一步視点を上げて、最近考えました。

それは

イナテックが存在する意義

(人は何のために生き、何の為に働くのか)

イナテック社員の生活の質の向上と心の幸福を追求すると同時に自然や世の人様の為に尽くす、人様のために働くことが、地球の進歩発展に貢献することである。

以上が『お客様に喜びと感動をお届けする(お客様に100%良品をお届けする)』の上位概念になることのように思ってきました。
これについてはもう少し整理させていただきます。

”なぜ続ける”のか(中村天風・代)

(社員の皆さんになぜ理念を語り続けるのか)

大切なのはその習慣を何年も持続すること。一つのことを続けて行くことは、ものすごく苦痛をとまなうが、それを払いのけるとそのプロセスが人格を練り上げ、人格を作り、ぶれない自分が出来上がってくる。
そうすれば素晴らしい未来が開けてくる。

「ずっと続けていると、“魅力”というおまけがついてくる」(津川雅彦)

社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック
代表取締役社長 稲垣 良次

2014. 1
No.245

新年明けまして

おめでとーいございます

2013年を振り返ってみますと、まずは『TPM優秀賞カテゴリーA』を皆さんの努力のお蔭で受賞できたことです。

もう一度、TPMについて整理してみます。

TPM・・・Total Productive Maintenance

(日本プラントメンテナンス協会より)

TPMは「生産システム効率化の極限追求(総合的効率化)をする企業体質づくりを目的として生産システムのライフサイクル全体を対象とした“災害ゼロ・不良ゼロ・故障ゼロ”などあらゆるロスを未然防止する仕組みを現場現物で

構築し、生産部門をはじめ、開発・営業・管理などのあらゆる部門にわたってトップから第一線従業員にいたるまで、重複小集団活動により、ロス・ゼロを達成すること」と定義されています。

イナテックはこのTPM活動の中のカテゴリーAで優秀賞をいただけたわけであります。

TPMの成果

TPM活動を皆さんで推進した結果の成果は、何と7年間で14万件と言う提案エフ付けエフ取り改善ができたという事実です。イナテック社員の皆さんの気づきのレベル・改善のレベルが向上したということであります。

その結果、我がイナテックの重要なお客様であるAW様での不良件数で見えますと、昨年(2012年度)比でなんと74%も低減しております。やはり皆様が愚直にTPM活動を実行していただき、皆様が成長した成果だということですね。

2014年のTPM活動

2014年のTPM活動は2013年に実施したモデルラインのみでなく、全ライン・全設備に対し、“自主保全活動”を実施し、『あらゆるロスゼロ』に向けて活動することであります。

そのTPM活動を通じてイナテック社員の皆さんが各々のスキルを向上させていただくことがイナテックの社会貢献であります。

今後のTPM活動

TPM優秀賞は事業場の規模・TPM活動の実績によって次のように分かれています。

(コンサルの山田先生流に表現させて頂くと)

- ・TPM優秀賞カテゴリーA (小学校卒業)
- ・TPM優秀継続賞 (中学校卒業)
- ・TPM特別賞 (高校卒業)

アイシングループ様は受賞済み

- ・TPMアドバンスト特別賞 (大学卒業)
- ・TPMワールドクラス賞 (大学院卒業)

以上、このように挑戦できるようになっております。

イナテックにとって“賞取り”が目的ではありませんが、イナテック社員の皆さんが『大学 or

大学院』をめざし、各々の皆さんが実力をつけていただくことが目的です。

どうか2014年も「勝つて兜の緒を締めよ！」と気を引き締め、頑張り、成長しようではありませんか。

『小さいことを積み重ねるのが、とんでもないところへ行くただひとつの道』(イチローの言葉)です。

悔れない猫背(日経新聞 2013年3月31日)

私も典型的な猫背です。それを直そうと努力しておりますが、道半ばです。

イナテック企業理念の中でもいつもお話しさせていただいている『立腰教育』にもつながると思いい紹介させていただきます。

猫背はさまざまな症状を引き起こします。

- ・ 脳梗塞 頭痛
- ・ 目の疲れ 首・肩のこり
- ・ 呼吸器疾患
- ・ 腰痛 椎間板ヘルニア
- ・ 便秘

・ 関節痛

と病気のデパートのようです。

なぜ猫背が癖になるのか、理由はその方が楽に感じるからです。背骨が伸びた姿勢を保つには、背筋や腹筋を使うが、実際は猫背の方が筋肉にかかる負担が大きいということです。楽な姿勢＝正しい姿勢ではないということです。

イナテック社員の皆さんが、2014年も健康で明るく元気に過ごせますよう祈願致します。

